

天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う式典委員会（第7回）議事概要

1 日 時：令和元年9月18日（水）14：42～15：07

2 場 所：総理大臣官邸大会議室

3 出席者：

・委員長

安倍 晋三 内閣総理大臣

・副委員長

菅 義偉 内閣官房長官

・委員

西村 明宏 内閣官房副長官（衆）

岡田 直樹 内閣官房副長官（参）

杉田 和博 内閣官房副長官（事務）

近藤 正春 内閣法制局長官

山本 信一郎 宮内庁長官

山崎 重孝 内閣府事務次官 兼 皇位継承式典事務局長

4 議事概要

（1）安倍内閣総理大臣挨拶

○ 本日は、即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀、饗宴の儀及び内閣総理大臣夫妻主催晩餐会の細目、祝賀御列の儀の予備日などについて議論を行ってまいりたい。

○ 委員各位の御協力をよろしく願います。

（2）即位礼正殿の儀の細目について

- 冒頭、山崎皇位継承式典事務局長から、今般の内閣改造により、西村明宏内閣官房副長官、岡田直樹内閣官房副長官及び近藤正春内閣法制局長官に、当委員会の構成員として新たに加わっていただいていることの報告があった。
- 資料 1－1「即位礼正殿の儀の細目について」及び資料 1－2「即位礼正殿の儀の細目について（案）」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。
- 山本宮内庁長官から、かつて京都御所で行われていた即位礼において、歴代の天皇は、式場である紫宸殿の後方からお出ましになり、高御座にその後方の階段からお昇りになった上で、初めて参列者にお姿を現されていた。今回は、宮殿中庭に仮設ステージを設置しないこととする一方で、大小のモニターを多数設置することにより、参列者に天皇皇后両陛下のお姿を十分に伝えることができるようになったので、お出ましの経路をより伝統に沿ったものとするのは、適切であるという趣旨の発言があった。
- 近藤内閣法制局長官から、即位礼正殿の儀は、もとより宗教上の儀式としての性格を有するものではなく、また、歴史上、伝統的皇位継承儀式において用いられ、皇位と結びついた古式ゆかしい調度品として伝承されてきた高御座から天皇陛下がおことばを述べられることは、憲法との関係において問題はない。また、即位礼正殿の儀の細目案は、先般式典委員会において決定された次第概要等が踏まえられており、皇室の伝統等を尊重したものであるとともに、憲法の趣旨に照らしても適切なものであるという趣旨の発言があった。
- 杉田内閣官房副長官から、細目案は、「御即位を公に宣明されるとともに、その御即位を内外の代表がことほぐ」という儀式の趣旨を満たしたものである。また、先般決定した次第概要等を踏まえながら、服

装面では御高齢の皇族殿下の御参列にも配慮したものとなっており、適切であるという趣旨の発言があった。

- 即位礼正殿の儀の細目について、案のとおりとすることが了承された。

(3) 祝賀御列の儀の予備日について

- 資料2-1「祝賀御列の儀の挙行と予備日について(案)」及び資料2-2「祝賀御列の儀の予備日について(案)」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。
- 西村内閣官房副長官から、「広く国民に御即位を披露され、祝福を受けられる」という儀式の趣旨から、天皇皇后両陛下には、オープン・カーで儀式に臨んでいただければ、国民の皆様は喜ばれると思う。そのような観点から、式典当日に台風などの悪天候であった場合の対応として、予備日を設けることは適切であるという趣旨の発言があった。
- 杉田内閣官房副長官から、国民の参加のしやすさや、交通規制による影響等の観点を踏まえれば、予備日を10月26日の土曜日とすることは適切であるという趣旨の発言があった。
- 山本宮内庁長官から、前回の式典委員会で候補日として挙げたとおり、予備日を10月26日の土曜日とすることは適切であるという趣旨の発言があった。
- 祝賀御列の儀の予備日について、案のとおり決定された。

(4) 祝賀御列の儀の細目について

- 資料3-1「祝賀御列の儀の細目について」、資料3-2「祝賀御列

の儀における天皇皇后両陛下のお車について」及び資料 3-3 「祝賀御列の儀の細目について（案）」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。

- 岡田内閣官房副長官から、両陛下のお車については、式典委員会の決定に沿って、晴れの舞台にふさわしいお車が製造された。当日が降雨等の場合には、やむを得ずクロズド・カーを使用することがあるとのことだが、晴天となることを心から期待したいという趣旨の発言があった。
- 祝賀御列の儀の細目について、案のとおりとすることが了承された。

(5) 饗宴の儀の細目について

- 資料 4-1 「饗宴の儀の細目について」及び資料 4-2 「饗宴の儀の細目について（案）」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。
- 山本宮内庁長官から、細目案は、先般決定した次第概要等を踏まえて検討され、宮殿内における参列者の動きなどの細かな情報が追加されたものとなっており、円滑な進行が可能となるものとして適切である。両陛下と参列者が喜びの時を共にしていただけるよう、関係府省庁と連携して準備に万全を期すという趣旨の発言があった。
- 饗宴の儀の細目について、案のとおりとすることが了承された。

(6) 内閣総理大臣夫妻主催晩餐会の細目について

- 資料 5-1 「内閣総理大臣夫妻主催晩餐会の細目について」及び資料 5-2 「内閣総理大臣夫妻主催晩餐会の細目について（案）」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。
- 杉田内閣官房副長官から、平成度は、正餐の後に総理の挨拶・乾杯

を行っていたが、正餐の開始に当たって行う方が、より自然であり、進行も円滑であると思われるため、細目案は適切であるという趣旨の発言があった。

- 内閣総理大臣夫妻主催晚餐会の細目について、案のとおりとすることが了承された。

(7) 次回日程等

- 菅内閣官房長官から、即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀及び饗宴の儀については、近く、それぞれ国事行為である国の儀式として行うことについて閣議決定を行うとともに、細目については、内閣告示をもって公示することとしたい。第8回委員会では、秋の一連の式典の実施結果について事務局から報告を受けるとともに、立皇嗣の礼の次第概要等について議論を行うこととし、秋の一連の式典が終了した12月を目途に開催したいという趣旨の発言があった。

(8) 安倍内閣総理大臣発言

- いよいよ来月、皇位継承に関する一連の式典の中でも最大の式典である即位礼正殿の儀を執り行うことになる。
- 天皇陛下には、ここに、御即位を内外に宣明され、国民や世界の人々から祝福をお受けになる。
- 今回は、儀式に参列するため、平成を上回る、190以上の国や国際機関の代表の方々の来日が予想されている。
- 世界各国からの賓客の受け入れに万全を期すとともに、儀式が円滑に、また厳粛に行われるよう、政府一丸となって、全力を尽くしてまいる。

- 本日は、来月の一連の式典実施に当たり、即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀、饗宴の儀及び内閣総理大臣夫妻主催晩餐会の細目案を了承した。
- また、祝賀御列の儀当日が、台風などの荒天となった場合の予備日を10月26日とすることを決定した。
- 政府においては、本日は承された細目案を基に、式典の準備に万全を期してまいる。
- 国民の皆様におかれては、式典の円滑な挙行に向けて御協力を賜るよう、よろしくお願い申し上げます。

(9) 閉会